

研究協力のお願

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

高齢結腸癌患者におけるオキサリプラチン併用術後補助化学療法の予後予測スコアモデルの構築		
1. 研究の対象および研究対象期間 2010年1月1日から2021年3月31日までに当院消化器内科に入院又は外来で大腸癌と診断され、術後化学療法を受けられた患者さん。		
2. 研究目的・方法 2017年の本邦における大腸癌の罹患数は、全癌の中で最も多く、また、癌による死亡原因の第2位です。大腸癌の発症率は年齢とともに増加し約50%が70歳以上の高齢者の患者さんです。 現在、Stage 結腸癌の術後補助化学療法は、オキサリプラチン併用療法が標準治療です。しかし、70歳以上の高齢者に対するオキサリプラチン併用術後補助化学療法の有効性は一定の見解が得られていません。そこで、オキサリプラチン併用術後補助化学療法の治療効果に関連する特徴を診療録から調査し、予後予測スコアモデルを年齢別に構築するため本研究を計画しました。 本研究では消化器内科入院又は外来で結腸癌と診断され、術後化学療法を受けられた患者さんのデータを取得します。		
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2026年3月31日まで		
4. 研究に用いる試料・情報の種類 情報：生年月日、病歴、抗がん剤治療歴、検査値、治療効果		
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません		
6. 研究組織		
研究責任者	昭和大学薬学部病薬剤学講座 (昭和大学病院)	岡田 貴裕
研究分担者	昭和大学薬学部病薬剤学講座 (昭和大学横浜市北部病院)	縄田 修一

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学薬学部病薬剤学講座（昭和大学病院） 氏名： 岡田 貴裕

住所：〒142-8666 品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8467